



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 日本電子株式会社  
 コード番号 6951 URL <https://www.jeol.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 大井 泉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略室長 (氏名) 塩田 将司  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 042(543)1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	18,742	6.1	1,678		1,605		1,578	
2019年3月期第1四半期	19,958	26.3	1,337		921		732	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,978百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 963百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	32.66	
2019年3月期第1四半期	15.15	

当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	118,485	39,029	32.9	807.83
2019年3月期	122,665	41,593	33.9	860.90

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 39,029百万円 2019年3月期 41,593百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		4.50		12.00	
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年3月期の1株当たり年間配当額は21円となります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	9.2	1,500	53.2	1,800	1.3	1,100	20.4	22.77
通期	119,000	6.9	7,100	6.4	7,500	0.8	5,000	15.8	103.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	48,857,800 株	2019年3月期	48,857,800 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	544,134 株	2019年3月期	544,134 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	48,313,666 株	2019年3月期1Q	48,313,952 株

当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりませんが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社の取り巻く経済環境、市場の動向、為替レートの変動など、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、米中貿易摩擦をはじめとする米国の通商政策の動向、中国経済の成長鈍化および日韓関係の悪化等によって経済の減速懸念が強まっており、景気の先行きは一層不透明な状況となっています。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「Triangle Plan 2022」（2019年度～2021年度）に掲げる重点戦略を強力に推進し、企業価値の向上および経営基盤の強化を図るとともに受注・売上の確保に努めました。受注は好調に推移しましたが、売上の進捗にやや遅れが発生しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が18,742百万円（前年同期比6.1%減）となりました。損益面におきましては、営業損失が1,678百万円（前年同期は営業損失1,337百万円）、経常損失は1,605百万円（前年同期は経常損失921百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,578百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失732百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 理科学・計測機器事業

電子顕微鏡を中心とした引合いは好調に推移したものの、売上高はやや低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は11,563百万円（前年同期比 13.9%減）となりました。

#### ② 産業機器事業

電子ビーム描画装置を中心に、受注・売上が好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は3,205百万円（前年同期比 42.6%増）となりました。

#### ③ 医用機器事業

国内市場における生化学自動分析装置を中心とした引合いが好調に推移し、売上高は堅調に推移しました。

一方、海外はOEM供給先への売上高が低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は3,973百万円（前年同期比 7.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から4,180百万円減少し118,485百万円となりました。主なものとしては、現金及び預金が700百万円増加、受取手形及び売掛金が10,494百万円減少し、たな卸資産が6,622百万円増加しております。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から1,616百万円減少し79,455百万円となりました。主なものとしては、前受金が1,670百万円増加したものの支払手形及び買掛金が2,153百万円減少したこと等によるものであります。

一方、当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金の減少に伴い39,029百万円となりました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末から1.0ポイント減少し32.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月15日に公表しました業績予想に変更はございません。

なお、当社の売上・利益は第4四半期に集中する傾向があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,296	9,997
受取手形及び売掛金	32,361	21,867
商品及び製品	11,055	14,123
仕掛品	35,052	38,507
原材料及び貯蔵品	2,467	2,567
その他	3,528	2,366
貸倒引当金	△517	△433
流動資産合計	93,245	88,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,999	5,891
機械装置及び運搬具(純額)	1,060	1,018
工具、器具及び備品(純額)	3,893	3,693
土地	1,802	1,779
リース資産(純額)	301	669
建設仮勘定	141	216
有形固定資産合計	13,198	13,269
無形固定資産		
のれん	1,756	1,664
その他	491	464
無形固定資産合計	2,248	2,129
投資その他の資産		
投資有価証券	8,306	8,165
その他	5,639	5,901
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	13,938	14,059
固定資産合計	29,384	29,458
繰延資産	35	30
資産合計	122,665	118,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,359	12,206
電子記録債務	9,582	9,895
短期借入金	10,059	9,394
1年内償還予定の社債	448	448
未払法人税等	1,182	184
前受金	11,942	13,613
賞与引当金	1,598	2,268
その他	10,905	10,353
流動負債合計	60,078	58,364
固定負債		
社債	5,012	4,869
長期借入金	5,383	4,813
役員退職慰労引当金	38	26
役員株式給付引当金	95	131
退職給付に係る負債	9,590	9,806
資産除去債務	320	320
その他	553	1,124
固定負債合計	20,994	21,091
負債合計	81,072	79,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,037	10,037
資本剰余金	9,914	9,914
利益剰余金	22,899	20,736
自己株式	△1,068	△1,068
株主資本合計	41,783	39,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,743	2,449
繰延ヘッジ損益	1	33
為替換算調整勘定	△1,574	△1,804
退職給付に係る調整累計額	△1,361	△1,269
その他の包括利益累計額合計	△190	△591
純資産合計	41,593	39,029
負債純資産合計	122,665	118,485

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	19,958	18,742
売上原価	12,780	11,350
売上総利益	7,177	7,391
販売費及び一般管理費		
研究開発費	1,692	1,857
その他	6,823	7,212
販売費及び一般管理費合計	8,515	9,070
営業損失(△)	△1,337	△1,678
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	66	65
受託研究収入	125	33
為替差益	117	—
持分法による投資利益	106	203
その他	55	112
営業外収益合計	478	423
営業外費用		
支払利息	39	32
売上債権売却損	2	3
為替差損	—	301
その他	19	13
営業外費用合計	61	350
経常損失(△)	△921	△1,605
特別利益		
固定資産売却益	43	5
特別利益合計	43	5
特別損失		
固定資産除却損	0	22
特別損失合計	0	22
税金等調整前四半期純損失(△)	△878	△1,622
法人税、住民税及び事業税	140	115
法人税等調整額	△286	△159
法人税等合計	△146	△44
四半期純損失(△)	△732	△1,578
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△732	△1,578

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△732	△1,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△279	△293
繰延ヘッジ損益	△5	31
為替換算調整勘定	24	△224
退職給付に係る調整額	89	91
持分法適用会社に対する持分相当額	△60	△5
その他の包括利益合計	△231	△400
四半期包括利益	△963	△1,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△963	△1,978
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS16号「リース」の適用)

当社グループは、当第1四半期連結会計期間の期首より、日本基準を採用する当社および国内子会社ならびに米国基準を適用する米国子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則すべてのリースについて資産および負債を認識することといたしました。

なお、本基準の適用による当社グループの財政状態および経営成績に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,432	2,247	4,278	19,958	—	19,958
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,432	2,247	4,278	19,958	—	19,958
セグメント利益又は損失 (△)	△894	0	607	△285	△1,051	△1,337

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,051百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,051百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,563	3,205	3,973	18,742	—	18,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,563	3,205	3,973	18,742	—	18,742
セグメント利益又は損失 (△)	△1,308	331	394	△582	△1,096	△1,678

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,096百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,096百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。